



COLUMN

表紙：

塩田工場

1979年

1970年代はオフィスコンピュータやワードプロセッサをはじめとするコンピュータ機器の普及にともない、オフィス・オートメーションの市場が拡大していました。これらの機器には冷却のためにファンが使用されていました。

当社は、市場の要求にこたえるために小型回転機の生産体制を強化することが必要と判断し、1979年4月、長野県上田市に上田事業所塩田分工場（現：塩田工場）を新設しました。

新設当時は冷却ファン「San Ace」の専門工場としての役割を担い、生産は順調に増加していきました。それにとともに、1982年には工場の増設もおこなわれました。

さらなる生産力の増強を見据え、「San Ace」の生産拠点は1990年に新設した富士山工場へ移転されます。

その後、塩田工場はサーボアンプやパワーコンディショナの生産工場として稼動し、現在はステッピングモータの生産をおこなっています。